

農産物の免疫力増強効果について

愛媛大学 農学部 生物資源学科 応用生命化学専門教育コース・動物細胞工学教育分野

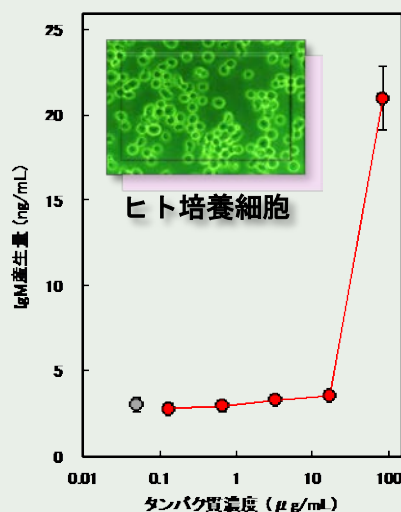
教授 菅原 卓也

研究概要

農産物を乾燥・粉末化することによって活用範囲を拡大を狙うとともに、健康機能を解明することで付加価値付与を目的として研究を開始した。様々な野菜粉末からそれぞれの成分を抽出し、ヒト培養細胞を用いて農産物成分の**免疫力増強効果**を調査した。

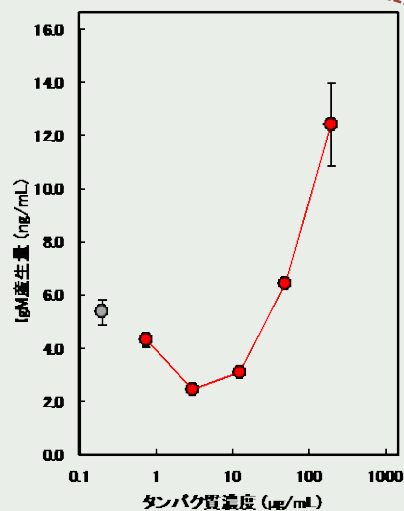
イヨカンの免疫促進効果

イヨカンの水溶性抽出物をヒト培養細胞の培養液に添加し、免疫タンパク質である抗体(IgM)の産生量を指標として、免疫力増強効果を検討した。その結果、右図に示したように、イヨカン抽出物に培養細胞の抗体産生を促進する効果があることが確認された。



サトイモの免疫促進効果

サトイモ(伊予美人(V2)親イモ)抽出物の免疫力増強効果を同様に検討したところ、ヒト培養細胞のIgM産生を2倍促進する作用があることが確認された。親イモは多くが免疫促進機能が明らかになれば、付加価値付与に繋がる。



ハウレンソウ、アスパラガスにも同様の効果があることが確認された。